



オススメ白泉社文庫

● テーマ ●



動物たちのお言葉



めっきり寒くなってきましたね。元気にしてますか。風邪ひかないようにガシガシ手洗いうがいをして、こたつに潜って、みかんを食べて、しっかりビタミンとりながら、読書に耽りましょう。今回は、れっつ・わくわく動物ランド。動物特集です。ハートフルから超ビターまで、賑やかな面々が本の中でお待ちしております。

● チョビ、ミゲ、ヒヨちゃん、スナネズミ、そしてハムテル



動物のお医者さん 佐々木倫子 第1巻

実に平等なマンガだ。人間と動物のわけへだてな加減はハンパじゃない。種族の区別なくキャラが立っていて、とにかくどうしようもなく、誰も彼もがマイペース。きっと登場人物及び動物のなかで、般若顔のシベリアンハスキーのチョコビが、一番協調性があるのではないかと思うほど。人間というより珍獣っぽい教授も必見。

全8巻好評発売中!

● みかんに教わる、家族になるために必要な幾つかのこと



みかん・絵日記 安孫子三和 第1巻

人間の言葉がしゃべれることをひた隠しにしていた猫のみかん。草風家の人々に彼がカミングアウトし、心を開くまではけっこう時間がかかる。言葉がしゃべれるからこそ、ときとして意志が伝わりにくいあたりがなんとも「信用できる」マンガなのだ。その紆余曲折に心を寄り添わせて、一緒に泣いたり笑ったりせずにいられない。

全6巻好評発売中!

● おバカさんな子ほど、可愛い



ハムスターの研究レポート 大雪師走 第1巻

ハムスターが、どれだけお間抜けでおバカさんで、だからこそ目が離せないくらい可愛い。そのことを作者は、毎日ごはんを食べるように、日常として描く。可愛い生き物をただ可愛がるというのではなく、一緒に暮らすということについて、描かれているように思う。解説の糸井重里の文章にも心揺さぶられるのでぜひ一読を。

全4巻好評発売中!

● ほっこりするのに、切なく胸がしめつけられる



サバの秋の夜長 大島弓子

詩的で繊細な世界を描く少女マンガ家の、かけがえない愛猫サバとのふたりきりの日々。その毎日は哲学と詩と生活の匂いが色濃くたちこめている。命には終わりがあから、サバはもうこの世にいない。でもきっとここに描かれている時間や心や習慣のなかには今も変わらずに作者のそばにあるものがきつとあるに違いない。

全1巻好評発売中!

● 一緒に大きくなってゆく



荒野の天使ども ひかわきょうこ 第1巻

健気な子供という点において、ミリアムと子豚のウィリーはいっしょだ。荒くれ者が横行する西部で心優しい人々に出会い、彼らに守られ、精一杯の活躍で彼らを守ろうと奮闘する同志なのだ。個性的な男前がじゃんじゃん出てくる西部劇なのに、どこかほのぼのしている作品の象徴みたいなウィリーは、抱いたらきつと勇気が出る。

全2巻好評発売中!

● おデブなにゃんこは元美青年



横須賀ロビン 魔夜峰央

外見に心惑わされて本質を見失うのは、いっそ人情だと言ってい。変わり者の美青年がぼっくり逝き、まるっとした飼猫ロビンの体に魂が入ってしまうこのお話はそのところを容赦なく突く。むしろ美青年はロビンの姿になってさらに自由にいろんなことに首を突っ込む。薔薇色の人生は、きつと魂で謳歌するものなのだ。

全1巻好評発売中!

● 捨てられない理性、抗えない本能



君の瞳に三日月 桑田乃梨子

普通、変身モノは変身することがバレたら一大事。それが物語のラスト一歩手前になることだってある。しかし! 桑田ワールドは違うのだ。なったらなつたでそれはそれとして、話は進んでいくのである。学校だって通うし、高校生らしく恋に悩んだりもするのである。その恋をはばむのが、猫になっちゃう体質なところがミソだ。

全1巻好評発売中!

● 隣人は心優しいエレファントマン

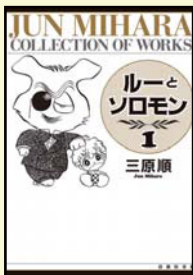


エレファントマン・ライフ 坂田靖子

いつかアフリカで動物の写真を撮りたいと夢見ながら、都会のマンションに暮らすジャッキーは、妻子ある身で失業中。隣人の引っ越しを手伝うことになるのだが、彼らはどこからどうみても象なのだ。なかよして、気のいいふたりのエレファントマンとの時間は、ちょっぴり荒んだ気持ちもゆったり優しく解してくれる。

全1巻好評発売中!

● 好きすぎて大嫌いなあなた



ルーとソロモン 三原 順 第1巻

子犬のときから疎まれていたソロモンは、卑屈なひねくれ者。彼を仕方なくもらったウォーカー一家だったが、末っ子のルーだけは、ソロモンのことが大好きで、ソロモンは有頂天になる。けれど、本当はソロモンのことを好きなのはルーだけじゃない。ハードな交流にめげないために、ルーの素直な優しさは不可欠の宝物なのだ。

全2巻好評発売中!

